

# 羽生版子育て支援策 について

丑久保 恒行議員

・質問 次点について伺いたい。

次世代育成支援行動計画の目標、職員配置について

放課後児童クラブ(学童保育室)の充実について

学校や通学路の安全確保の取り組みについて

小児医療体制の充実について

て

障害児に対する療育・教育の充実について

・答弁(市民福祉部長)

次世代育成支援行動計画は、「育つ楽しみ、育てる楽しみ、みんなで共有できるまち羽生」をスローガンに、地域ぐるみの子育て支援の充実、子

育て親子への相談・交流の充実、児童虐待を起さないまちづくりを目標に施策の展開を行うものである。

実施に当たっては、社会福祉課を中心に教育委員会、保健年金課、商工課、社会福祉協議会等での連携を図り進めていくことになるが、今後予定の機構改革にあわせて推進体制の整備を進めていきたい。

現在、学童保育室が未設置の小学校区は、新郷第二、川俣、三田ヶ谷、村君の四小学校区であるが、川俣小学校区に

委託による開設を進めているところである。今後、全区校区開設を目指していきたい。

防犯教室の開催や地域パトロールの強化により防犯体制を充実させるとともに、地域との連携により、地域安全マップの作成、不審者情報に対する情報網の整備等、地域と一体で取り組んでいきたい。

小児の救急医療体制については、平成十六年度から羽生市を含む十七市町村による小児救急医療体制がスタートした。今後も関係機関との連携

により、よりよい医療体制の整備を図っていきたい。

障害児に対する特別支援教育について、研修等を通じて教職員の理解と人材育成、環境整備等に努めてきたところである。今後、さらに障害児、発達障害児に対する教職員の理解を深めることにより、障害児に対する教育の充実を図っていきたい。

## その他の質問

・防災に關しての取り組みについて

# 災害相互協定都市の 拡大について

蜂須 直巳議員

・質問 現在、本市ではいくつかの自治体と災害協定を結んでいるが、今後の水害、地震などの災害に備えて、全国的に災害都市協定を結ぶべきと考えるが、見解を伺いたい。

・答弁(総務部長)

地震災害や台風などの水害に対する対策は、その規模に

よつては長期間にわたること

が想定され、また、自治体職員も被災者になる可能性があるため、日頃から自治体間で災害相互応援体制を構築しておくことは重要なことであると認識している。

本市では、福島県金山町及び埼玉県吹上町と災害時に

ける相互応援協定を締結しており、食料、飲料水及び生活必需物資、資機材の提供、被災者の救出、職員の派遣、車両の提供などについて、相互に要請、応援できる体制をとっている。

そして、毎年実施している防災訓練に際しては、職員を相互派遣するとともに、地震、台風時の情報交換を行っているところである。

また、以前設置されていた全国藤の都市連絡協議会の構成八市(群馬県藤岡市、富岡

市、埼玉県春日部市、富士見市、神奈川県藤沢市、静岡県藤枝市、愛知県江南市、津島市)とも同様の協定を締結している。



金山町からの救援物資輸送訓練

今後は、実際に災害が発生した際に、一刻も早く、そして本間に必要な救援を図るための協定のあり方、相互の具体的な協力体制のあり方、平常時における住民相互の交流のあり方などについて、定期的な検討を進めていきたいと考えている。

## その他の質問

・岩瀬土地区画整理事業について

・不当要求対策について